

夢創館
2Fギャラリー

墨アーティスト イマタニタカコ

春の兆しを描いた墨作品 『墨香の夏』

無料

5/10(火)～5/15(日) 午前10時～午後4時

墨アート展示 墨柄のワンピース、バッグ、風呂敷など製品展示
墨アートの公開制作…期間中の土日に行います

イマタニタカコ

奈良在住

京都芸術短期大学 造形芸術学科卒業
DAS (社団法人総合デザイナー協会) 会員

イラストレーター・デザイナーとして活動後、イタリア旅行を契機に日本的な画材で表現していくことを考え、書の枠にとらわれず墨の豊かな風合いと新しい表現方法を模索創作発表している。

インスタレーションや舞台美術、店舗、住宅の襖絵など大きな空間を演出する。

『墨ノデザイン部』を立ち上げ、墨の豊かな表現世界を伝え絶滅の危機に瀕する奈良墨を残していく活動をしている。

2016年秋には、パリ ルーブル美術館で開催のアートフェアに参加が決まっている。

飛鳥を翔た女性たち

日本国創生のとき

日本遺産 認定

日本遺産は平成27年度に文化庁が創設し、橿原市・高取町・明日香村が共同で申請していた「日本国創成のとき～飛鳥を翔(かけ)た女性たち～」のストーリーが、平成27年4月24日に認定されました。飛鳥時代に女性が活躍したストーリーを国内外に発信することで、私たちの地域の活性化・観光振興が期待されます。高取町内では5つの文化財が対象になっています。

紀路(巨勢路)…下ツ道の南への延長で紀伊国へと続く古代幹道。斉明・持統女帝はこの道を通り牟呂の湯へと訪れた。

波多甕井神社…羽田は推古女帝が百官を従え薬狩りを行った地である。この神社周辺の羽内遺跡では大型の掘立柱建物が検出されている。

高取城跡猿石…城跡にある飛鳥時代の石造物。斉明女帝が古代のおもてなしの場の盛り上げ役として造ったオブジェ。

斉明天皇陵(越智岡上陵)…斉明女帝と間人皇女の墓、大田皇女の墓。母と娘がひとつの古墳に合葬され、さらに孫娘の墓を陵前に造るなど三代続けての親子愛にあふれている。

光永寺人頭石…高取土佐街道の光永寺にある飛鳥時代の石造物。斉明女帝が古代のおもてなしの場の盛り上げ役として造ったオブジェ。